

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15101005	最高速AFMが解き明かす生物分子モーターのナノ構造ダイナミクス	安藤 敏夫 (金沢大学・大学院自然科学研究科・教授)	A+
<p>AFMの高速化の限界を理論的に考察しつつ、世界的にも先導的な最高性能の高速AFMを開発することに成功したことは、高く評価できる。また、開発した高速AFMを用いて生物分子モーターがレール上を歩行運動する様子をイメージングすることに成功し、生物分子モーターの機能解析に大きく貢献した共同研究も特筆すべきである。</p> <p>AFMの高速化を実現したのみならず試料への低侵襲性を両立させることに成功しているため、外国に注目される特許取得等、世界への情報発信性もきわめて高いといえる。</p>			